

WACATE ワカテ マガジン Magazine Vol.20

✿ ご挨拶 ✿



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪

暑い日が続いておりますが、
皆様体調はいかがでしょう？

夕空が綺麗に見えました。
外に出かけるときは水分をしっかり摂って
熱中症にお気を付けくださいね♪

WACATE は冬に向けて始動しました。
第一弾として ManiaX の頒布があります。
今月は是非、東京ビッグサイトに遊びに
来てくださいませ♪

それでは WACATE-Magazine vol.20 開始です！

✿ vol.20 のお品書き ✿

- p.01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p.02 【特集】 JaSST' 10 Shikoku Report!
- p.05 【特集】 Software Testing ManiaX vol.3 がやってくる！
- p.06 【リレーコラム】 ワカテにきく。
- p.07 【トピックス】 SoftwareTestTopics
- p.08 【連載】 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p.09 【不定期連載】 コヤマンまーくの補給戦線異状なし！
- p.10 【連載】 今月の STAR★
- p.11 【連載】 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p.12 お知らせ/編集後記/おくづけ

✿ WACATE TOPICS ✿

[News] ソフトウェアテスト PRESS vol.10 に「WACATE 通信」を寄稿しました！是非ご覧ください！

[News] 2010/08/15[日] コミックマーケット78 最終日 東2ホール P-49a にて

Software Testing ManiaX vol.3 の頒布が決定しました！！ 皆様のご来場、お待ちしております！！

JaSST '10 Shikoku

聴いて・考えて・語って♪満喫♪Report!!

♪WACATE 夏の次はJaSSTが待っているぜい!

7月から12月の間で、東京以外のJaSSTが続々と開催されるのは、もう皆さんご存知ですよね?

WACATE 2010 冬開催までの間、**JaSST 巡りを楽しむのが超おすすりめ+**というもきっとWACATE-Magazine 愛読者の皆さんはご存知ですよね?w

すでにShikoku, Kansaiにて、WACATEファンの皆さんの顔ぶれを見かけています。昨年より地方組(地元以外の参加者)が増えたような気がします(気のせいかなあ;)。地元の皆さんと各地から駆け付けたみなさんとで共に学び交流ができることは素晴らしいと思います。うっかり参加を逃してしまったアナタ!**10月と11月であと3か所開催されますよん☆是非時間を作って参加してみてくださいね♪**

・・・と、いう前振りをしているとおり、今年もはりきって各地にぶっ飛んでる^_^ばんばんちゃんですう♪昨年に引き続き、今年も各地のJaSSTレポートをお届けしていきたいと思っ♪・・・って、今年も誰かほかの人がレポートするのがいいと思っんだよね・・・

投稿戦士も大募集でっす!!

7月は2箇所で開催されました。まずはJaSST'10 Shikokuのレポートを簡単なお伝えしようと思っ♪

JaSST'10 Shikoku 7月2日(Fri)於 香川大学
実行委員長、古川先生のご挨拶で始まり始まり~w

■講演「第三世代に突入したソフトウェアテスト」
西 康晴 氏

■セッションレポート

ソフトの信頼性は低いと言わざるを得ない。製品の全体像をイメージしてソフトの一部をつくっていますか?実際はなかなかできない。そのソフトをつくることに注力してしまう。

テストで品質をあげる=開発でバグをつくりこんで当

然 という考えがありがちだが、一方で、ちゃんとやっていたら、要求・設計・コードでバグは入り込まない!という考えを持っているところもある。バグを出さないようにする→でも出ちゃう→出たバグを分析→フィードバックして改善、というように、バグを出さないようにするためにテストを活用する。フィードバック、改善が行われないのは、技術者が使っ捨てされる背景も作用している。

ソフトウェアテストとは

- ・製品出荷時の品質や信頼性を向上させる技術
 - ・納期遅れや残業・休出を減少させる技術
 - ・ソフトウェア全体の開発力を向上させる技術
- テストの質を高めることで上流の質が高まり、上流の質が高まることでテストの質も高まる。

クラシックな技術(Vモデル・ホワイトボックステスト/ブラックボックステスト・システムテストカテゴリなど)を教育として教え込んでも、それを何も考えないで実行すると”逆回転”に陥る(悪いサイクルは逆回転しているようなものであり、それを無理やり押し進めようとするので労力がかかる。良いサイクルは進行方向に回転するので押すのに余計な労力はいらぬ。)

ソフトウェアの世代は大きく3つにわかれる

第一世代

決まっている範囲から選ぶ技術や考え方
1995年くらいより古い。クラシックなテスト。

第二世代

範囲を広げたり自ら決める技術や考え方

第三世代

全体像や本質をとらえる技術や考え方
日本で多く議論されている。

世代を考える軸は7つある。(ソフトウェアテストの進化を整理するための7つの軸)

①開発ライフサイクル軸

第三世代はWモデル。テストも設計と実行に分ける。テストをキチンと設計すると、設計するだけで実施しなくても見つかるバグがある=設計の時点で実施しなくても見つかるバグは無くしておき、本当にテストを実施しないと見つからないバグだけを見つけるためにテスト実行をする。

②テストライフサイクル軸

第一世代では、テスト計画にテストケースが書かれることもあったとか・・・第二世代はテストケースを記述することに主眼を置く考え方。テストを開発するのが第三世代。

③テスト技術軸

リスクベースドテストは第二世代。数字を入れることは簡単にできるが、本当にその数値が合っているの？数字が独り歩きしていない？点数の付け方を変えていかないとだめ。

仮にもし無現に時間があつたら漏れないテストはできるか？実際は「気づかないゆえに漏れること」がよくある。実はテストが無限かどうかはあまり問題ではない。テストで気づかなければいけないことをきちんと列挙できるかどうかポイント。テストのモデリングにより、テストで気づかなければならないことがキチンと列挙できているという確信を持つ。モデリングによるテスト開発は第三世代。

④テスト対象軸

開発者が間違えやすい傾向がある。第三世代では間違えやすいところをパターン化・モデリングしてテスト設計。不具合の分析結果に要注意！！(その場限りの簡単なミスとすることが多い、他人のせいになっている、など)

⑤派生開発軸

再利用はモデリングしておかないと出来ない。

⑥テストスコープ軸

⑦品質軸

本当にその製品の価値は何か？

(ちなみに各軸ごとの解説は、途中で時間切れとなりましたw)

自分の会社の技術はいついどの世代か？を把握し、世代を高めていこう。

そのために本を読もう。

でも本を読んでどう使うか？にも世代がある。

その本に書かれていることがどの世代に属するかを考えるより、**その世代の使い方どう活用するか？**を考えよう。

個々の地域でソフトウェアの技術の議論が活性化する必要はある！ 四国の皆さんがもちょっと聴きたいなあというのであれば勉強会を企画していただければ、残りの 1/3 についてお話しします(そのための呼び水ということで♪)

■セッション感想

講演はたいいてい自己紹介から始まりますが、様々な活動に関わっていらっしやることから紹介だけで時間が結構費やされているという状況・・・wwwしかし、そんなお話をうかがうことができるというのも講演の

醍醐味なのだと思います。

自分の組織の世代を把握するために、外の世界を知ることが必要！と思っています。積極的な議論や情報交換で得るものは大きいです。もっとたくさんの技術者が積極的に議論に参加して欲しいなあ・・・と思います。(WACATE もおおいに活用してねっ☆)

■ワークショップ

「原因結果グラフ技法を学んでみよう！使ってみよう！」

加瀬 正樹 氏

WACATE でもお馴染み、技法好き好きだーいすきっ！な加瀬さんによる、3時間のワークショップです。

■まずは原因結果グラフの解説から☺

Cause-Effect Graph (略してCEG)

テスト対象の入力やイベント＝原因

出力＝結果

論理関係をグラフ化して、デシジョンテーブルを作成する組み合わせ設計技法。

直交表系は、論理関係が無いものに対し、無いことを確認する。

それに対して、

デシジョンテーブル系は、複雑な論理関係を持つものに対し、論理関係が正しいことを確認する。

原因結果グラフ技法により・・・

◇ 仕様バグを見つけたり、仕様自体の見直しができる。

「おかしいなあ？」「もっと簡単にできるんじゃない？」といったことが見えてくる。上流のバグをなくしていくことに役立つ。

◇ 効率的にテスト条件が作れる。論理関係の網羅性が高いテスト条件を作れる。

手順としては

①原因結果グラフ作成

②それをもとにデシジョンテーブルを作成

③デシジョンテーブルをもとにテストケースを作成

ATM の手数料を対象とした例題をもとに、上記手順のうち、①の原因結果グラフ作成について、具体的な手順を追っていきました。

まず、**仕様から原因と結果を見つける。**

「結果」は、テストで確認したいことになる。

仕様書では「手数料が発生する」と「手数料がかからない」という記述があるが、それを「手数料あり」と「手数料なし」の二つの結果として挙げるのではなく、

「手数料あり」を挙げて、「である」と「ではない」の原因を考える。

次に、結果がなににより行われるのか(原因)、それに関連しそうな「原因」を見つけ出す。

そして、原因と結果を結びつける。

「IF~THEN~」が見つければ、それは論理関係がある！以下のように、「IF~THEN~」になるように仕様を言い換えてみるとよい。

- ◇ 「夜 23 時~朝 8 時」かつ “「優遇会員」以外” で ATM を利用すると、「手数料がかかる」
- ◇ 「引出」または「預入」または「振込」をすることが「ATM 利用」となる。(「引出」または「預入」または「振込」をすると「手数料あり」、というようにいきなり結果につなげようとするのを防ぐ)

その後、制約を見つける

・・・あり得ない組み合わせを取り除くため

- ◇ **ONE 制約**
(一度に利用できるのは条件内のどれか1つだけ。両立しない。)
- ◇ **EXCL 制約**
(ONE、あるいは、どれでもない(全部が成立しない))
- ◇ **INCL 制約**
(一度に利用できるのは1つとは限らない。どれか一つ以上であればよい)

このほかに、REQ 制約と MASK 制約もありますが、その説明はとりあえず今回はパスw
上記3つの制約を使うことが多いそうです。

■まずは手描きで！

まずは手描きで原因結果グラフを作成しました。

✪演習を行ってみたいの感想✪

いきなり結果に結び付けるのではなく、中間ノードを置くという考え方がカギ。“否定”を有効利用することも心がけると良いと思いました。また、いきなりグラフを描こうとするのではなく、まずは「IF~THEN~」の文章で考えてみることから始めることが大事ななあと思いました。

ぱっと見、もっと簡単にできるのかなあと思っていたのですが、実際技法を用いてみると、原因をどのように挙げたらよいか、結果とどう結び付けるか、ということでものすごく迷ってしまいました・・・あぁ訓練しなきゃなあ^^；

まずデシジョンテーブルを作成して、次に原因結果グラフからデシジョンテーブルを作成す

ることで、気づかない点などが見えてくるかもしれないなあ、とも思いました。

■CEG Test を使ってみよう！

次に、CEG Test という支援ツールを用いてグラフを描く演習を行いました。ツールは下記 URL で、ブラウザ上ですぐに利用可能です！！

<http://softest.cocolog-nifty.com/labo/CEGTest/>

なお、対応ブラウザとしては、Google Chrome がいちばん軽く動くそうです。

IE は動きが鈍いのであまりおススメできないそうです。

このツールを使うと、**グラフを描くと同時にデシジョンテーブルも作成できちゃう**すごいです。

ノード編集で各種配置モードのボタンの選択解除方法がわからなくて戸惑ったりもしましたが^^；そういうのは初めの頃はありがちなことだと思います。CSV形式の保存を考慮している点もありがたいところです。(コピーして自分でファイル作成するシンプルなものも個人的には好きです♪)

そんなこんなであっという間に3時間が経過してしまいました。

そして高木先生のご挨拶で閉会したのでした。

■そして情報交換会へ♪

情報交換会は別の会場へ移動して海の幸などお料理をいただきながらじっくり歓談を楽しみました。お座敷だったこともあり、途中席を移動するなど、交流が盛んに行われていました。2 次会まで行って深夜まで更にアツく語っていた方々も・・・ええいつもどおりw

四国はそれぞれ隣同志の県より海を隔てた向かいの県のほうが行き来しやすいという特徴があり、それだけに移動時間の面でオフでの交流が難しいそうです。それでもオンラインをうまく利用して勉強会などイベントが活発に行われるようになることを期待したいです。**四国のみなさん、是非+西さんの講演の続きを聴く機会を設けてくださいね~☆**

翌日は午後から土砂降り！！午前中に屋島に行って正解だったw(すでに断続的に降ってましたが^^；)
当日でなくて本当によかったあぁと思いながら高松をあとにしたのでした。

書いた人：ぼんぼん

伝説のソフトウェアテスト同人誌 Software Testing ManiaX -vol.3- がやってくる!

† WACATE-Books †

Software Testing "ManiaX" - vol.3 -



◆またまたやってきました!

WACATE 2010 夏では既に告知がありました、今年の夏も豪華執筆陣のご協力を受け発行が確定いたしました!

皆様の多大なるご協力のおかげで、至るところで話題に上っています「伝説のソフトウェアテスト同人誌」こと

Software Testing ManiaX vol.3!

今回もますますパワーアップ!してお届けいたします!! 今回も既に編集作業を終え、既に印刷が開始されております(ニヤリ)。

いやー、まさか海外でも著名なあの方が寄稿してくださるとは…。

さてさて。そんな天井知らずの Software Testing ManiaX。簡単ではありますが今回もご紹介をさせていただこうと思います!

◆今回の特徴

今回は全体を通してアジャイル色が強く、他にも言葉の定義についてのコンテンツなどなど、今回も多方面に渡ってアツい想いをお届けすることになります。アジャイル、開発、テスト、規格、メンタルなど、第一線で活躍されている執筆陣の紡ぎ出すアツい想いは、きっと皆さんの胸に届くでしょう。

もちろんおなじみとなったアレもアレも、掲載されております。

また、今回はゲーム業界の方も参戦してくださいました。普段私たちがあまりわからない世界について、マニアックな世界を見せていただけます。

◆今回も超豪華執筆陣!!

毎度、発行までは基本的に内密にしている執筆陣ですが、今回は少しチラ見せをしようかと。

◆海外

既におなじみとなったR氏、前回は寄稿くださったG氏に加え、超強力な助っ人として Inspection や Measurement など著名な T O m G O O b 氏が寄稿!

◆国内

今回も我らが池田実行委員長に加え、にしさん、秋山さん、鈴木ミッキーさんと超豪華執筆陣に加え、今回は WACATE 2010 夏に来てくださったあの方、WACATE 2009 夏に来てくださったあの方、そして某研究所の方やソフトウェアテスト PRESS に寄稿されているあの方などなど。

今回も盛りだくさんでお届けする Software Testing ManiaX!! 入手したい方は以下にどうぞ!

8/15 (日) 東京ビッグサイト (C78)

東2ホール P-49a WACATE

#僅かですが vol.1, vol.2 もありますので、この機会に入手したい方は是非!

書いた人: コヤマン

ワカテにきく

第20回：【 WACATEの復習会実施しました♪ 】なべっち

■自己紹介



著者近影

こんにちは。松木さんからのバトンを受け、今回書かせていただくことになりましたなべっちです。WACATEには過去4回参加しました。すっかり常連の域です(笑)今回は『自分とテストとのかかわり』と『WACATE2010 夏 復習会』について、お話をさせてい

たきます。

■テストとのかかわり

私の業務は、システム開発の最初から最後までと幅広いです。設計や開発もしますし、テストも行います。自分がこれまでに主に携わったテストといえば、

- 単体テスト
- 結合テスト
- システムテスト
- パフォーマンステスト
- 探索的テスト

といった感じでしょうか。

現在はオフショア開発も行うプロジェクトにいたりもあり、この記事が公開される頃には、オフショアからの受け入れテストや諸々の成果物レビューをひたすらやっているといます。

一開発者という立場でひたすら開発というだけではなく、様々な角度からテストや品質管理を担当することのできる立場にいますので、非常に恵まれているなと感じています。折角の機会なので、WACATEで触れたり、吸収したりしたことを少しでも業務に生かしていけるよう、もっと頑張っていきたいです。



■WACATE2010 夏 復習会をしました

7月10日(土)に東京でWACATE2010 夏の復習会を行い、全部で9名の方にご参加いただきました。この場をお借りして、復習会について、少しだけ紹介したいと思います。

今回のWACATEは夏恒例のワークショップ中心でした。最後に成果物発表ということで他の班のアウトプットを知ることが出来るものの、私のもっと知りたいと感じている

『その結論に至るまでのプロセス』というのは、残念ながらあまり共有の機会がありません。「だったらそのような場を設けてしまおうか」というのが思い付いたきっかけです。当日、参加者の方に聞いたところ、皆さんから同じような声が多く聞かれました。実際にやった内容は、主に下記についてのフリーディスカッションです。

- ワークショップの中で勉強になった・工夫した・他の班の発表より感じたこと
- GQMを使ってみて感じたこと
- ワークショップで初参加者へのフォローはどうしたか? また、初参加してみようだったか?
- その他

『実はその他に費やした時間が一番多かった・・・』という事実があったのはご愛敬ということで(笑) 話の中で、「今回のワークショップって、実はWACATE2009冬のいくつかのセッションの復習が意図になっているのかな?」という話題も出ました。

話の中で、『実行委員が途中で配っていた補足資料は実は良なのでは?』という声も聞こえてきました。実際の意図は不明ですが、「良と思って無視していた」班、「使わなきゃという考えから囚われ過ぎた」班、「補足資料として活用した」班に分かれていたという事実が判明し、面白いなと感じました。可能であれば、実行委員の方に本当の意図をお聞きしたいものです。

復習会は今回初めての試みであったこともあり、運営自体ははっきり言ってまだまだ課題があります。しかし、こうして「やりたい!」と声を発して動くと、同じような想いを持っている方々も一緒になってその実現の場を作り上げようとしてくれる。そのようなWACATEのいいところの一つを感じることができ、とてもよかったと感じています。WACATEを通して成長し、それを周りに還元していく、というサイクルを早く確立できるよう精進していきたいと思います。



Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは、上田です〜♪

暑い日が続いてますね〜。

外は暑いのに、仕事中は冷房でガンガンにきいていて寒いという感じで、

ちょっと風邪をひいちゃいました。。

みなさまも体調には気をつけてくださいな。

さてさて、今月もお役立ち情報をお届けします〜

ところでボクはVDM++って知りませんでした。。

「VDM++ってまたC++みたいなプログラミング言語かな？」と思ってちょっと調べてみました。

VDM(Vienna Development Method)は形式手法の1つで1960年代にIBM ウィーン研究所で開発されたもので、VDM++はオブジェクト指向に拡張したものらしいです。

プログラミング言語ではなくて、形式手法です！！

【書籍】ソフトウェアテスト PRESS vol.10

出版社：技術評論社

発売日：2010/8/4

ISBN-10：4774143413

ISBN-13：978-4774143415

定価：1,659円(税込み)

ソフトウェア・テストPRESSも、もう10号目なんですって！！

さて、今回の特集は3つありますっ！

特集1、今こと聞きたいテストの上流設計

特集2、JSTQB認定テスト技術者資格 Advanced Level

特集3、テストと品質管理だけで安心できますか？続・一歩先行くメトリクス測定の初め方・生かし方
どの特集もめっちゃ楽しみです。

特集3はソフトウェアテストPRESS Vol.9の「テストと品質管理だけで安心できますか？一歩先行くメトリクス測定の初め方・生かし方」の続編ですよ！！

WACATE通信ではWACATE2010夏のレポートが掲載されまーす！

【書籍】VDM++によるオブジェクト指向システムの 高品質設計と検証

著者：ジョン・フィッツジェラルド、ピーター・ゴルトム・ラーセン、ポール・マッカージー、ニコ・ブラット、マーセル・パーホフ

翻訳：酒匂 寛

出版社：翔泳社

ISBN-10：479811961X

ISBN-13：978-4798119618

発売日：2010/8/3

定価：5,754円(税込み)

「品質問題で余計な修正コストがかかっている原因の8割は「仕様」が曖昧！！」というキャッチコピー！これは、興味津々ですね。

【イベント】JaSST'10 Tokai ポスターセッション発表

表募集中

2010年10月22日に開催されるJaSST'10 Tokaiでポスターセッションの募集をしています！！

募集のテーマ内容は「ソフトウェアの品質向上、生産性向上、組織改革に関する内容」です。(製品/ツール等の紹介も可とのこと)

ポスターセッションの申込み締め切りは8月31日ですっ

【イベント】JaSST'11 Tokyo 論文募集中

来年の1月25日～26日にかけて開催されるJaSST'11 Tokyoで研究論文、事例論文、事例発表を対象にした論文の募集を行っています！

対象の分野に関しては、いろいろあって書ききれないのでJaSST'11 Tokyoのホームページを御覧ください。

論文の締め切りは2010年9月20日です。

【イベント】ソフトウェア品質シンポジウム2010

日程：2010年8月25日～27日

会場：東洋大学・白山キャンパス(東京・文京区)

参加費：一般(39,990円(税込み))、日科協賛賛助会員(37,800円(税込み))、団体申込み(一人あたり34,650円(税込み))、発表者(5,250円(税込み))、共著者(18,900円(税込み))

セッションの内容等はホームページをご覧ください。

今年も併設チュートリアルが開催されます！！

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とかOFF会とか開催するんだけど掲載してくれない？」といったものでもOKです。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしておりますm(_ _)m

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第二十幕】 夏の開放感と風物詩

♪夏が始まるよ！

この記事がみなさんの目に触れている頃は、真っ盛りなのですが、今年も夏が始まりました。私は汗っかきなので夏は正直好きではないのですが、なんといいますが、爽快感というのでしょうか、それは大好きだったりします。

そう、爽快感というビール…なのですよ。美味しい季節なので、飲んでる間だけは大好きです。

(^-^)

♪引っ越しました

そんなわけで、夏の開放感もあって衝動的に引越しをしました。これまで住んでいたところとはとにかく音が響きやすく、お隣の騒音に悩まされておりました。小さなお子さんが二人いるのですが、その足音が響く響く。どれくらいかという部屋で電話をしている際に、電話の音が聞こえにくくなるくらいです。しかもそれが25時くらいまで続くものですから「こりゃもう無理〜」と、WACATE2010 夏が終わったこともあり、気がついたら契約のサインを入れておりました。(^-^)

♪視聴環境をグレードアップしよう！

引越しが決まると、いろいろと家財を入れ替えたくなるものですが、今回はTVまわりの音系環境をグレードアップすることにしました。ちょうどブラウン管TVを廃棄しようかなど考えていたところだったので、ではあわせて更新してしまおうかなど考えたわけです。また、ここ数年は演劇関係のDVDなどを観ることが多くなったのですが、だんだんと良い環境で観たくなってきます。そういった要求からも背中を押され、頑張ることにしました。

買い揃えたのは、AVアンプとスピーカー5本。予算の都合上あまり上位のモデルは買えなかったのですが、それでも歴然と今までの環境とは違います。AVアンプはまたすぐに買い換えるからねえということで、少し抑えめのモデルに。スピーカーはフロントの2本を重視し、ウーファーをはずして5.0chを購入。ウーファーに関しては組みあがった状況で視聴し、低音が足りなければ買うことにしました。

♪引越しはしたが…

そういったわけで、セッティングがとても楽しみなのですが、残念ながら、まだ完了していません。

荷物が結構多いのと新しく購入したTVボードが到着しないので、フロントとセンターしかつかないでません。アンプ等の配置換えは結構大変ですから、ちゃんとレイアウトが確定したところでしっかりと結線するつもりです。夏休みの頃にはきっとそれなりの環境になるのではないかと思います。

♪夏の風物詩「ピーターパン」

夏といえば海！なのですが、ホリプロの「ピーターパン」なのです。一昨年から知り合いが迷子役で出演しているのですが、毎年関係者席をお願いしております、今年もとてもいい席で観劇することができました。

今年はこのピーターパンが30周年ということで、ピーターがダブルキャスト。現ピーターの高畑充希さんに加え、笹本玲奈さんが8年ぶりに演じています。観劇した回は笹本玲奈さんの千種楽の回。私は彼女のファンですけど、まさかピーターを観られるとは思っていませんでしたので、とても楽しみにしていました。高畑ピーターに比較すると、やはり身体は大きいなあと思ったのですが、舞台上の存在感は抜群。歌唱カモダンスも流石、フライングも縦横無尽。スピンしながら急浮上するシーンが有るのですが、そのスピンの速さと回転数がびっくり。完全に「技」ですね。途中、ワイヤレスマイクのバッテリーの部分が腰から外れて、タイツの中を足元までずり落ちるといふハプニングもありましたが、落ち着いて対処していたのがベテランのなせる技だなあに関心。他の出演者も好演。特にフック船長を演じた橋本じゅんさんは去年からかなりパワーアップしていて、たくさん笑わせていただきました。

ピーターパンは子供にとっては夢のある話、大人にとっては考えさせられる話で、それぞれの世代がそれぞれに楽しめる稀有な演目だと思います。子供向けの演目だと思っている大人には是非一度見てほしいなと思います。

♪終わりに

8月は夏休みが消滅の予感なのですが、いよいよ開幕するエリザベトを楽しみに乗り切っていこうと思います！<終>

★ まーく ★ の ★
補給戦線異状なし!

本コーナーはテスト業界という
 知的戦場で戦うテストエンジニアたちの
 糖質補給等を暑苦しく支える
 漢(おとこ)たちの物語である!

Extra Mission-3: 関東南西部方面戦線状況報告!!

今回は、マークは、夏休みで休養中
 なのでお休み。

って、ことにしたいところだったが、お仕事がなければ、日々のたまった仕事をしたり、懺悔^H^H 上等士官幸いる部隊サービスに対応したりとなかなか忙しい。

そんな中、筑波のJAXAに、「はやぶさの再突入カプセル」を見学をした後に、筑波から軽井沢へ、下道を延々と、暑い館林・前橋を通り過ぎて西進したのであった。よく解らない人は、関東の地図を確認してね。

どうにかこうにか、到着した。さすが、日本の誇る高級避暑地“軽井沢”は、日差しさえさければ心地よい風で心なごむのでありました。

さて今回の補給物資は、ジャムである。軽井沢のジャムといえば、「沢屋」さんが有名です。しかし、当軍の補給部門としては、「かねかわ農園販売所」にてジャムの購入がオススメです。

こちらにも有名なのですが、ご存じない方のために紹介しよう。

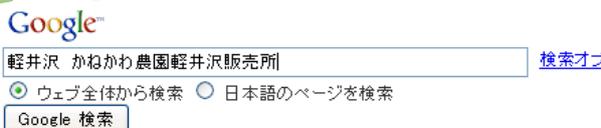
かねかわ農園のジャムの中で一番有名なのは、かなり昔に著名なパティシエも絶賛したという紅玉ジャムがあることを聞いて訪ねて以来のファンである。

これは、果肉を薄い角切りにしてジャムが作られている。色は淡いピンクです。お味は、甘さ控えめで爽やかな酸味があります。

当軍でも、大変の人気で貴重であるが、あっというまに無くなってしまふのが残念である。

お店の写真を取り忘れた orz が、はっきりいって、軽井沢のおしゃれな雰囲気とのアンマッチ感は満点なのだが、いつも高級外車がいたりするのでそのアンマッチ感はいけている。

その片鱗を見たい場合は



で、検索して欲しい。



で、今回購入したジャムは、
これだ!



紅玉の裏：よく見ると果肉が見えるかも



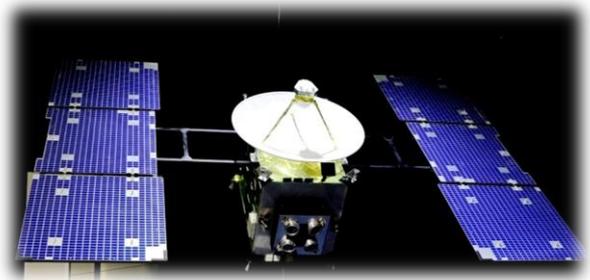
なので、これから軽井沢方面に行く方は、訪ねてみてください。

記事があいたので、涼しさのおすそわけです。

夏の涼：白糸の滝



はやぶさの模型：いちぶのマニア向け



実際の再突入カプセルは、**撮影禁止**で残念でござった。

書いた人：まーく

今月のSTAR★

◆関西に殴り込んできた！！

7月24日(Sat)
午前中は、森崎先生による
開発コンテキスト勉強会
を実施し、昼食を淀屋橋付
近のお好み焼き屋さんで
取りながらビールを補給
した我らがSTAR★が心齋
橋へ殴り込みです。
さすがに土曜日、人がいっ
ぱい；
心齋橋筋をぶらぶらしな
がら、戎橋(引っかけ橋)
へ！
グリコの看板とご対面☆

更に進むと・・・な、なんと！

http://www.shinsekai.ne.jp/minami_hondori03.html

「喫茶スター」それも★つきですよ！！



そしてかに道楽の前にたどり着いたので、かに道楽もジ
ャック！

もー、さすがです、これを見せたくて
スターは私たちを連れてきたのですね・・・www



そして通天閣へ！

展望台エレベータへ続く通路の途中にパネル発見！！
これはもう撮影するっきゃないでしょ！！



そのままの勢いで新世界へ。
ジャンジャン横丁から入り、新世界をぶらつく。

さすが新世界というだけあって、流行を先取りです。

スターと一緒に撮影できるのはファンとしてはやっぱり
嬉しいですよ♪うんうん。



そして展望台のピリケン さんとご対面♪

この後、近くのお店で串カ
ツ、どて焼き、たこ焼きと
大阪グルメを満喫！
そしてこの日も夜遅く地
下鉄がなくなるまで飲ん
で語って騒ぎましたとさ
w
(ちなみにスター★はこの
日帰る予定だった・・・)



こ、こんなサングラス見たことない！

書いた人：ばんばん

開運

源太郎の ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	8月の運勢
一白水星	S38/S47/S56/H2	運気はそれぞれの本命星は循環し定位に泊しており、大きな動きは見られぬ。自ら重大な事柄に向かうのは控えねばならぬ。自然の動きに任せること。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	運気は本命星が安定したのでやや落ち着きを取りもどしてきている。外部への働きは控え甘言に注意し周辺の細事の手直しを計るのが肝要。
三碧木星	S36/S45/S54/S63	運気は中運。ようやく退路を見つけ一時の難は避けただけでいかに行動するかの決断が必要。このままの状態では衰弱を待つばかり躊躇せず決断をするのが吉。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	運気は安定し大掻きをかえって逆運とも成りかねぬ。心身を静ませ周辺の整理が必要。乱れかけたそれぞれの和の中和を計るのも大切な仕事。
五黄土星	S34/S43/S52/S61	運気は思わしくない方向に向かいつつある。しっかりと足場を固めておかぬと大事に至る。今は新規や拡張を押さえ自身の身を守る事が何より大事。
六白金星	S33/S42/S51/S60	運気は余り変化がなく以前からの行動が有効。たまに孤独感を感じさせることもあるが、自分に自信を持ち帝王の座を守るくらいの決意の見せ所。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	運気はあまり芳しくない。変化変動の激しい月となり心身共に落ち着かぬ事が多くなる。金銭的にも心配事が起きそう。十分な支出の管理が必要。
八白土星	S31/S40/S49/S58	運気は中運で吉凶半端な状態である。自身の熱意と努力によって運気はどちらにも傾きそう。ここは踏ん張りどころ。とことん努力することが肝要なり。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	運気はやや平常に戻りつつあるがまだまだ由断は出来ぬ。双六の振り出しの如く心機一転も一つの方策。安定した基礎作りが思わぬ好機を招きそう。

月盤 五黄土星				年盤 八白土星			
南				南			
暗剣殺				暗剣殺			
東	4	9	2	東	7	3	5
	3	5	7		6	8	1
	8	1	6		2	4	9
北				北			
五黄殺				五黄殺			
西				西			

Workshop for Accelerating Capabilities

お知らせ

8月31日(火)に WACATE-Magazine vol.21 発行します!(きっと)

次号の特集は「JaSST 10 Kanasai Report!」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方は WACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
- イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)

などなど、お待ちしております♪



ManiaXで、この夏アツくなれ!

★★★ ManiaX はじめました。 ★★★

編集後記

いいしょ★ManiaX 発行です! ぜひ見てね! (^-^)

オト★暑い日が続きますね~(;´Д`) (´Д`U)アツイ~。

ミエ★今月は国際展示場に行かなくては~

コヤマン★ナツとゆーワケでコミケです! 皆様のご来場、お待ちしております!!!!

ぱんぱん★この夏はウナギを3度も食べたのにすっかり夏バテしとりますorz

まーく★夏休みがあ 終わる。1ヶ月は欲しい、ワークシェアしたい

あらかみ★...そろそろお盆に有明に行くために、各種調整をしないと...

★あくづい★

2010/08/07(Sat)はっこう
WACATE-Magazine へんしゅう

✉Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>